

【例会場及び事務局】 兵庫県南あわじ市福良丙317 ホテル&リゾート南淡路 / TEL: 0799-53-1889 FAX: 0799-53-1889
 【例会日】 毎週金曜日 / 12:30~13:30 会長: 野村 将司 幹事: 豊嶋 賢之 会報委員長: 奥井 光子



結婚月の竹谷会員に花束のプレゼント。

第2937回例会 2023年11月24日(金)

Vol.16

フォーラム 家庭集会発表

ロータリー財団月間 プログラム委員長/久米 啓右

♪本日のソング 「我等の生業」

第2936回 REPORT 2023年11月17日	会員総数	23名	暫定出席率	52.2%
	出席者	12名		
	欠席者	11名	例会運営委員長	上村 昌宏

会長の時間 野村 将司 会長

皆さんこんにちは。本日は今月最初の例会となりました。先日は親睦旅行、お疲れ様でした。親睦委員長の南岳さんには1人でお世話頂き本当にありがとうございました。

滋賀県、湖東三山にある西明寺(さいみょうじ)は織田信長の「延暦寺焼き討ち」を受けましたが、何とか本堂の焼失は免れ、その他お堂にあった仏像も本堂の後陣に避難しました。この時期に限り後陣の特別拝観が出来まして、貴重な仏像を拝観させて頂きました。

そして最後は有名なクラブハリエに行き、たくさんの観光客で賑わう中、バームクーヘンを頂きました。もともとは和菓子店のたねやが洋菓子部門として展開したのがこのクラブハリエで、現在の年商はなんと170億円になります。開業当初、バームクーヘンは結婚式の引き出物にあるような固くパサパサしたイメージがあり、あまり人気が無く赤字続きだったそうです。そのイメージを払拭したのがたねやの次男でお荷物と呼ばれた現在の山本社長です。店頭で丸太のように焼き上げ、小さくカットしてふっくらしっとりした食感を試食で提供したのがバームクーヘンのイメージを変え人気呼び、現在まで事業拡大をされました。山本氏はそうした経営者でありながら自らもパティシエとしてチョコレート細工部門で日本一に輝くなど、従業員の目標となっているそうです。

好循環の経営を学ばせて頂き、とても良い旅行となりました。ありがとうございました。



幹事報告 幹事代理 印部 浩史

- 【国際ロータリー日本事務局より】
 - ・財団室NEWS11月号拝受
- 【ガバナー事務局より国際ロータリー日本事務局より】
 - ・第3期ロータリーリーダーシップ研究会(RLI)パート1 ご案内
2023年11月23日(木・祝) 9:30~17:00予定 於 園田学園女大学新館 定員40名
 - ・ロータリー財団月間 当日ご準備について
 - ・2024-25年度補助金管理セミナー開催について
2023年12月10日(日)13:30~16:30 於 神戸ポートピアホテル 本館地下1階和楽の間



- ・第44回RYLAセミナーのご案内
2024年4月17日(木) 14:00集合 ~4月14日(月) 12:00 於 神戸TMCA余島野外活動センター
- ・ローターアクト「スポーツ大会」ご案内
2023年12月17日(日) 12:30受付 於 しあわせの村
- ・公共イメージ委員会アンケートのお願い

【淡路グループ】

- ・ガバナー補佐より第2回会長幹事会・忘年会のお知らせ
2023年12月14日(木) 18:00より会議 18:30より懇親会
- ・淡路三原RCより例会取消のお知らせ
2023年11月23日(木・祝)
- ・津名RCより例会変更・取消のお知らせ
12月13日(水) → 12月16日(土) 18:30~ クリスマス家族例会
12月27日(水) 年末休会
- ・津名RCより委会報告書拝受

【週報拝受】 洲本RC 淡路三原RC 津名RC あわじ中央RC

【ロータリー米山奨学会より】 ハイライトよねやま284号拝受

R財団月間卓話

印部 浩史 会員

世界でよいことをする為の ポリオプラス・ロータリーカード・資金推進の 合同、財団寄付促進プロジェクト

◆目標の寄付金未達の実状

毎年度、ガバナーより寄付金の目標額が提示されています。安行ガバナー年度では一人当たり寄付金160ドル、ポリオ基金で一人当たり40ドルという数字です。これまでは目標額に対してほとんどが未達となっており、財団の寄付額が非常に厳しい状況が続いております。

地区として財団への寄付と、それに伴う7つの重点分野の将来を危惧する状況何か士気を高める方策が今最も必要です。

◆寄付目標金額5億ドル

「昨年度は、寄付者の惜しみないご支援のおかげで、世界で4億3400万ドル(約600億円)が集まり、4億1000万ドルの年次目標を上回ることができました。経済的、社会的、環境的に多くの困難がある中、クラブや地域社会での奉仕を継続している会員の皆様に心より深く感謝いたします。

過去5年間で、ロータリー財団は、約1億人の人々を支援してきました。資金さえあれば、もっと多くの数えきれないほどの人々に手を差し伸べて支援できるはずですが、今後5年間で、この2倍の人々を救うことができます。私たちが必要としている人々を助けるためには資金が必要です。だからこそ、今年度、ロータリー財団管理委員会は、これまでの最高額となる5億ドル(約700億円)という野心的な寄付目標を設定しました。

◆5億ドルの内訳

これを実現するためには、ロータリアンとローターアクター全員のご協力が必要です。」と報告されました。しかし、ロータリー会員の60%以上がロータリー財団にまったく寄付していないことをご存知でしょうか。これは、ロータリー全会員約120万人のうち約70万人の会員が寄付していないことを意味します。

この70万人ひとりひとりが年に100ドルを寄付するだけでどれほど大きな違いを生むのか想像してください。なんと、総額7000万ドル、日本円にして約100億円になるんです。もはや大口寄付に頼らなくてよくなるのです。大口寄付は、大変素晴らしいことですが少しでも寄付をしようと思うロータリアンの裾野を広げることが最も重要なのです。



ニコニコ箱

野村会長：今日最初の例会、宜しくお願ひします。
豊嶋幹事：印部さん、昨日もありがとうございました。
印部さん：2班家庭集会お疲れ様でした。
本日卓話です。宜しくお願ひします。
久米啓さん：R財団月間卓話、宜しくお願ひします。
天羽・安部さん：財団月間卓話、第2680地区R財団委員会、ポリオ小委員会 印部様、宜しくお願ひします。

南岳さん：親睦旅行、皆様のご参加ありがとうございました。
奥井・天羽・久米啓さん：親睦旅行お世話になりました。
谷口さん：親睦旅行で、家内がお世話になりました。
坂本さん：旅行欠席のお詫び。
奥井さん：山本さん大丸いけばな素晴らしい。
久米啓さん：早退のお詫び。
竹谷さん：結婚月です。